

出雲市浄化槽設置事業経営戦略の改定について 【概要版】

1. 対象事業

以下の2事業について、浄化槽設置事業特別会計により、1, 241基の合併処理浄化槽の管理運営を行っている。

(1) 特定地域生活排水処理事業（市設置型浄化槽整備事業）

公共下水道事業等の集合処理区域以外の区域について、市が個別に合併処理浄化槽を設置し、維持管理を行っているもの。（管理基数 1,105 基、令和7年12月末時点）

(2) 個別排水処理事業

農業集落排水事業区域内において、経済比較の結果、管路を布設し集散的に処理することが適当でない家屋を対象に、市が個別に浄化槽を設置し、維持管理を行っているもの。（管理基数 136 基、同上）

2. 計画期間 令和8年度～令和17年度（10年間）

3. 将来の事業環境

(1) 処理区域内の人口及び水洗化人口の予測

処理区域内人口及び水洗化人口は、人口減少の影響を受け減少すると見込んでいる。

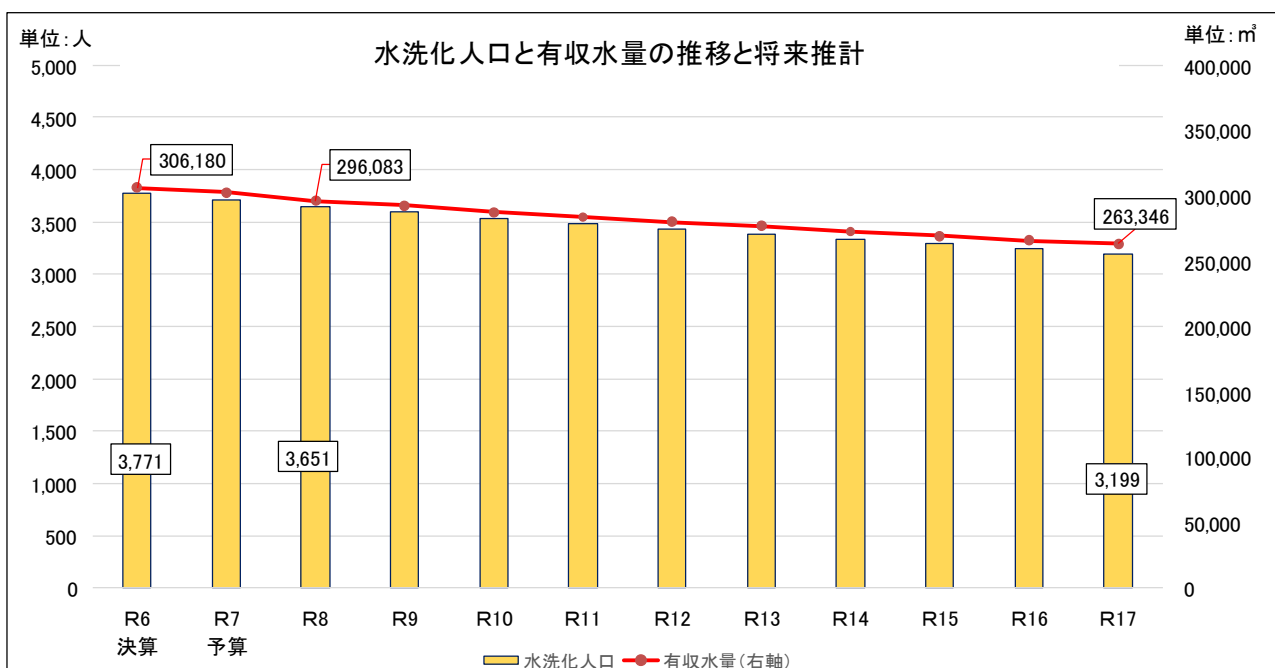
(2) 有収水量の予測及び使用料収入の見通し

有収水量は、人口減少の影響から減少していき、これにより、使用料収入についても減少していく見込みであるが、使用料改定により、令和14年度から増収を見込んでいる。

※当該事業は、負担の公平性の観点から公共下水道等と同一の使用料水準及び体系としている。

(3) 施設の見通し

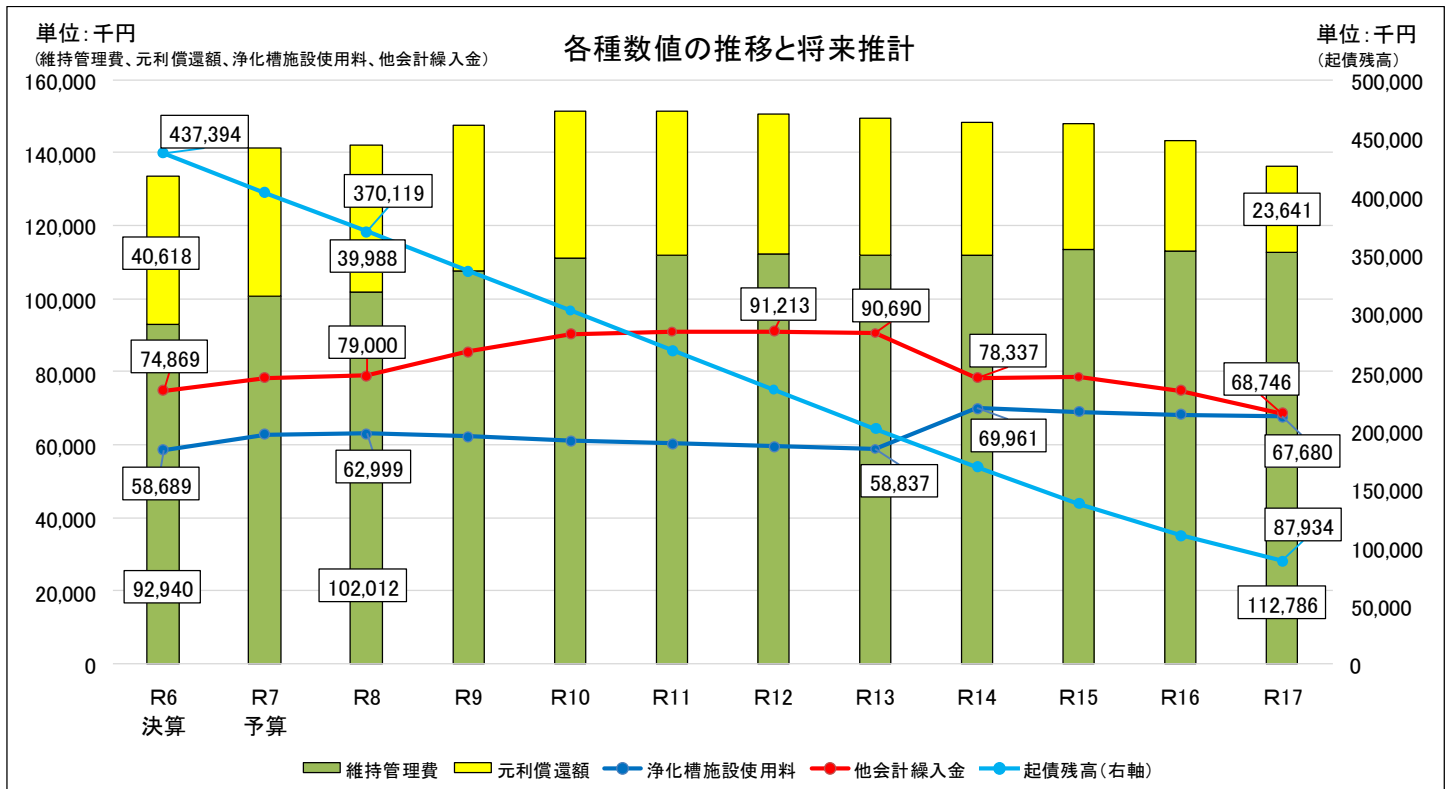
本市が行う合併処理浄化槽の整備は、平成10年度から実施し、平成29年度に完了している。現在は浄化槽の維持管理を行っており、今後、老朽化に伴う修繕箇所が増加が見込まれることから、長寿命化に向けた計画的な点検・修繕を行っていく。



4. 経営の基本方針

適切な合併処理浄化槽の維持管理及び長寿命化を図り、効率的、効果的な事業運営を行っていく。

5. 投資・財政計画（収支計画）



【浄化槽施設使用料】人口減少に伴う有収水量の減少により、減少が見込まれるが、使用料改定により、令和14年度から増収を見込んでいる。

【維持管理費】物価高騰やし尿処理手数料の改定により、増加が見込まれる。

【他会計繰入金】維持管理費の増加により増加するが、令和13年度以降は、元利償還金の減少及び令和14年度からの使用料収入増加により、減少していく見込みである。

【元利償還額】令和8年度の約4,000万円から、令和17年度には約2,400万円まで減少すると見込んでいる。

【起債残高】浄化槽の新規設置が完了しており、起債の償還を順次終わることから、令和8年度は約3億7,000万円あるが、令和17年度には約8,800万円まで減少すると見込んでいる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の進捗管理については、毎年度の予算へ反映させるとともに、決算を通じて実施状況の評価、検証を行う。また、それらをふまえ、長期的な観点から事業の在り方についても検討を行う。